

開催までの準備 おもてなし・その他

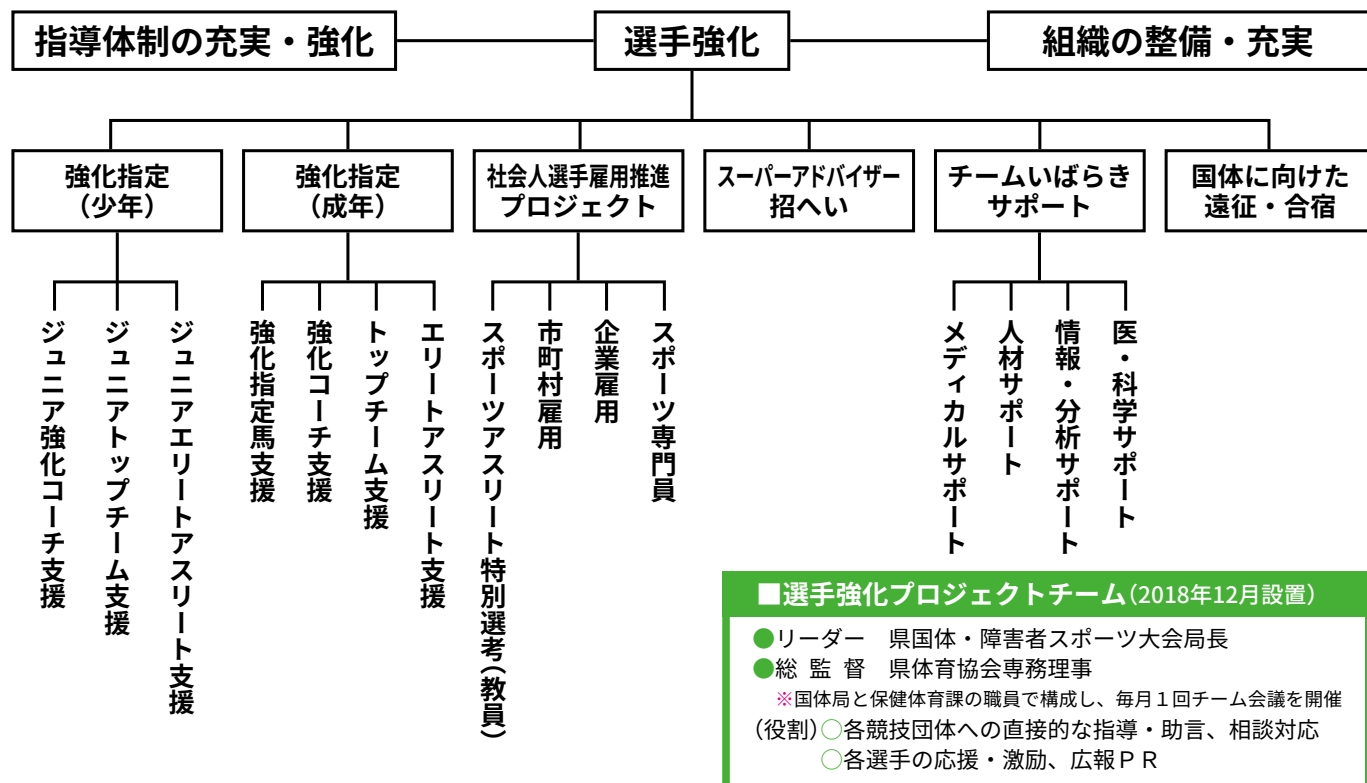
かいさいまでのじゅんび おもてなし・その他

- 選手強化事業
- 入賞記念品等
- 炬火
- 歓迎・おもてなし
- ユニフォーム・配布物等
- 都道府県応援団
- 開催を支えた方々
- 広報活動
- イベントによる機運醸成
- 県民運動
- 文化プログラム
- 全国都道府県対抗eスポーツ選手権

選手強化事業

せんしゅきょうかじぎょう

選手強化事業体系図



チームいばらきサポート事業

医・科学サポートの例



多くの競技団体から好評を得た強化練習会等へのトレーナー派遣



管理栄養士による栄養指導

メディカルサポートの例



スポーツ専門員を対象にした運動能力測定(筑波大学附属病院)

情報・分析サポートの例



ゲーム分析のビデオ撮影



動画編集



LINEにより、選手とスタッフで共有



スーパーアドバイザー招へい事業

招へい事業実施21競技(冬季競技含む)で

1362.5点/2569点 **獲得**

代表的なスーパーアドバイザー



鈴木隆行 氏 (サッカー)



中野善弘 氏 (馬術)

スポーツ専門員

スポーツ専門員23競技73名(冬季競技含む)で

601点/2569点 **獲得**

代表的なスポーツ専門員



宮地秀享 (体操)



野口啓代 (スポーツクライミング)



吉村真晴、吉村和弘 (卓球)

スポーツ専門員への支援の例



各地域J Aから旬の野菜や肉などを無償提供



ゼリーとドリンクを各1か月分無償提供



選手の活動状況や「旬のいばらき」などをメールマガジンで定期配信
会期中は毎日配信し、合計68本配信



副知事が6月から計12回現場を激励。会期中はほぼ毎日応援

入賞記念品等

にゅうしょうきねんひんなど



天皇杯



皇后杯



表彰状(男女総合優勝)



表彰状(女子総合優勝)

正式競技の男女総合成績と女子総合成績それぞれの第1位から第8位に入賞した都道府県に授与された西ノ内和紙の表彰状。中央には茨城県の形をした色紙を漉き込みしている。すべて県産材を用いており、額縁は浮造り加工した杉に漆を塗ったもの。内装の敷布は伝統的な技法で織り上げられた結城紬。



競技別表彰状および賞状は、結城紬の代表的な絁柄「亀甲」を使って県花バラを図案化した賞状ケースに収め、選手やチームに授与
(ケースデザイン：県産業技術イノベーションセンター繊維高分子研究所)



表彰状(競技別総合成績)



賞状(競技別)



賞状ケース(裏面)



メダル(競技別)



デモスポ賞状



デモスポ認定証



参加章



記念章

アルミニウム合金「A7075」を素材に、茨城の海から昇る朝日と、県花バラをデザイン。新しい時代「令和」の幕開けにあたり、未来へ向かう茨城の姿を表現している。

炬火

きよか



炬火トーチ

前回（昭和 49 年）の茨城国体で使用した炬火トーチを基に、茨城県の花であるバラをモチーフに製作。ホルダー中心部にバラの花を、ふちには県北・県央・鹿行・県南・県西の 5 地域を模したバラの装飾をあしらひ、未来に向かって羽ばたく茨城の姿を表現した。



炬火受皿

笠松運動公園陸上競技場の炬火台を基に、茨城県の伝統工芸である笠間焼で製作。大地の産物である粘土を生かした茶系の色を基本に、茨城の紺碧の海を表すブルーをアクセントに加え、茨城の豊かな自然を表現した。

炬火点火



炬火台で燃え上がる「いきいき茨城ゆめの火」





炬火イベント

(平成31年3月から令和元年9月)



炬火台に点火された火は、県内44市町村において、地域の特色を活かした炬火イベントで採火されたもの。これらのイベントは、幅広い世代の多くの県民が参加して行われた。

